

平成25年度環境監視調査計画およびフシナシミドロ属の一種について

○平成25年度環境監視調査計画(見直し箇所は※にて表記)

項目		平成25年度計画	準備工事開始～平成24年度まで
大気質		※工事中中断中は、調査を中断	連続(自動)
騒音・振動		※工事中中断中は、調査を中断	年1回(注) (騒音・振動レベルが最大となると想定される時期)
水質	海水の濁り	※工事中中断中は、調査を中断	2回/月 (海域工事がある場合)
	陸域工事排水の水質	1回/月	1回/月
陸生生物	ハヤブサ	概ね3～6月は2回/月 ※2月は1回/月	概ね3～6月は2回/月 その他は1回/月
	植生	2回/年	2回/年
海生生物	潮間帯生物 海藻草類 底生生物	※2回/年	4回/年
	スナメリ	1回/週(3～10月)	1回/週(3～10月)
	カクメイ科等の貝類	4回/年	4回/年

【その他調査】

項目	平成25年度計画	準備工事開始～平成24年度まで
カムリウミスズメ	※4～8月, 10月, 12～3月(1回/月)	1回/月
カラスバト	1回/月	1回/月

(注)現在、準備工事を一時中断しており、年間の騒音・振動レベルが最大となると想定される時期が不確実であることから、平成24年度まで万全を期して毎月調査を実施。

○フシナシミドロ属の一種(*Vaucheria piloboloides*)について

当社は、平成23年4月25日～5月12日に上関町および平生町の15調査地点において調査を行った結果、田ノ浦を含む8地点でフシナシミドロ属の一種が生育していることを確認し、平成23年7月、第5回環境監視委員会において公表した。

その後継続して行った生育環境の調査により、同種が比較的静穏な砂泥底海域に生育する傾向にあることを確認したことから、当社は、同種の分布域と同様な底質環境であれば、上関周辺海域以外にも分布している可能性があるかと推察した。

平成24年3月、当社は、公益財団法人 海洋生物環境研究所へ詳細な分析・評価を依頼した。同研究所は、専門家の意見も考慮し、同種が「日本初確認種である」、「日本の海域で広く生育が確認される可能性が高い」との考察を示した。

上記考察を受け、同種への影響について環境監視委員会へ確認した結果、平成25年4月、環境影響評価書記載の環境保全措置を確実に実施することで、準備工事や発電所の運転開始以降も影響は少ないとの見解を得た。

写真：フシナシドロ属の一種(*V. piloboloides*)



フシナシドロ属の一種(*V. piloboloides*)の確認範囲

